

# まえがき

本書は、これから大学で体育学・スポーツ科学を本格的に学ぶ人のために書かれた。我々が何を期待してこのテキストを編集したのか、いわば体育・スポーツの研究をスタートさせる君たちにメッセージを贈っておきたい。

まずは「目次」を見てほしい。君たちは体育・スポーツ研究方法論の守備範囲の広さに驚くのではないだろうか。高校までの学校教育の科目でいえば、保健体育を飛び越えて、国語、数学、理科、地歴公民、英語の範囲にまで及んでいる。体育・スポーツ学は人間の営み全体を対象にしていることがわかるだろう。なんと内容の豊穡な分野だろうか。

体育・スポーツ学は何を目指すのだろうか。最も広い分野名の「体育学」で考えてみよう。我々教員も君たち学生も、体育学を学び研究している。カウンセリングは人の悩みを取り除いてくれる。医学は人の痛みを取り除いてくれる。では、体育教師・体育学者は？ 体育は人に何をもたらしてくれるのだろうか。答えは1つではないかもしれない。けれども、1つだけ言えることがある。それは、体育は人に希望をもたらしすものであって、教師、指導者をはじめとする体育の専門家は、スポーツや身体運動を通じて人々に希望をもたらしす存在なのだ。君たちは希望をもたらしす人になるために、これから大学で学ぶことになる。それが大学で体育学を学ぶということなのだ。

では、次に「参考文献」をみてみよう。難しそうな本や論文が並んでいるね。ここでは英語も出てくる。これらを見ただけで参ったと思うかな。でも、大丈夫。このテキストを書いている先生方だって、研究をスタートした学部生の頃は、それらの文献を完璧には読めなかったんだ。それどころか、君たちと同じ年代の頃に、こんな難しい文献を見たことはなかったかもしれない。君たちは今、すでにこれらの文献を目にしている。テキストを書いている先生方よりも、君たちの方がすでに1歩リードしている。胸を張って学び始めよう。学問研究の世界へようこそ。

ここからは、日体大生諸君に我々から先輩として一言。

君たちは、体育教師をはじめとした自分の将来をイメージして、日体大に進学してきたと思う。まずは自分のために学んでほしい。けれども、君たちが体育学を学んだ結果は、学校体育やスポーツの現場をはじめとして、全国津々浦々、さらには世界の各地で人々に希望を与えることになるだろう。皆さんが体育学を真剣に学ぶことが、人類のためになる。日体大で体育学を学ぶとは、そういうことなのである。このテキストを携えて、大いに学び始めよう。焦らなくてもよい。確実に1つの項目を、次に1つのテーマを。君たち自身の夢の実現のために。そして人類の未来と幸福のために。

2021年3月

編者一同